



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

東

上場会社名 アズマハウス株式会社

上場取引所

コード番号 3293

URL <https://azumahouse.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 東 行男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 真川 幸範

(TEL) 073-475-1018

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,526	△3.3	248	2.5	215	1.1	142	6.0
2026年3月期第1四半期	2,613	△5.3	242	△18.6	213	△23.5	134	△29.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 142百万円(6.0%) 2026年3月期第1四半期 134百万円(△29.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	17.71	—
2026年3月期第1四半期	16.71	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	31,902	17,294	54.2
2026年3月期	32,056	17,293	53.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 17,294百万円 2026年3月期 17,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		17.50	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,508	8.6	535	26.4	475	24.9	297	24.7	36.89
通期	11,659	0.3	1,080	6.9	989	7.8	637	26.2	79.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	8,063,400株	2026年3月期	8,063,400株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	13,234株	2026年3月期	13,234株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	8,050,166株	2026年3月期1Q	8,050,166株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報をもとに作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2026年8月7日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費を中心に緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、物価上昇や原材料価格の高止まりが継続いたしました。さらに、地政学リスクの高まりや欧米における高金利水準の長期化など、企業を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いており、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループの不動産・建設事業においては、建設資材の高騰に伴う建築・造成工事費の上昇が継続したほか、政策金利の引き上げに伴う住宅ローン金利の上昇懸念等から、購買行動に慎重な動きがみられました。建築原材料の価格高騰に対しては、販売価格の適正化および建築原価の徹底した管理を進めてまいりました。

不動産賃貸事業につきましては、当社グループの基盤事業として安定的な収益構造を維持すべく、家賃収入の増加に注力いたしました。建築事業の強みを活かした賃貸住宅の建築をはじめ、利便性および快適性の向上を図ることで、管理物件において高い入居率を維持しております。また、オーナー様一人ひとりのニーズに応じた安定経営の提案を行うなど、管理サービスの充実と利益の確保に努めてまいりました。

資産活用事業につきましては、不動産賃貸事業とのセグメント間シナジーの創出や、多様な情報チャネルの活用により、安定的な賃貸経営の事業提案を推進いたしました。あわせて、賃貸収益物件の販売にも注力し、土地の有効活用に留まらず、資産運用の最適化を追求してまいりました。

ホテル事業につきましては、エネルギー価格や原材料価格の高止まりによる物価上昇の影響が続きました。これらに伴うコスト増加に対応するため、適正な価格設定と快適性の向上を両立させ、収益の確保を実践してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は2,526百万円(前年同期比3.3%減)、経常利益は215百万円(前年同期比1.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は142百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

セグメントごとの販売状況は次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(千円)	前年同期比(%)	内容
不動産・建設事業	1,110,936	85.3	分譲土地販売、建売分譲住宅販売、売建分譲住宅販売、注文建築、リフォーム及び公共工事、土地・中古住宅の買取・販売・仲介、保険代理業 (分譲土地38区画、建売分譲住宅15棟、売建分譲住宅1棟、注文住宅4棟、中古住宅4棟)
不動産賃貸事業	1,060,857	100.8	不動産賃貸経営、賃貸管理及び賃貸仲介 (自社物件2,273戸、管理物件14,962戸)
資産活用事業	183,675	258.7	資産運用提案型賃貸住宅販売及び建売賃貸住宅販売 (賃貸住宅1棟、賃貸中古住宅1棟)
ホテル事業	162,062	91.2	ビジネスホテル及び飲食店の運営
その他(注3)	10,368	87.9	連結子会社(興國不動産株式会社)等の事業活動
合計(注1)	2,527,901	96.7	—
セグメント間取引	△1,076	72.2	—
連結財務諸表の売上高	2,526,824	96.7	—

(注) 1. セグメント間取引については含めて記載しております。

2. 主たる販売先は不特定多数の一般消費者であり、相手先別販売実績に対する割合が100分の10以上の販売先はありません。

3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社(興國不動産株式会社)等の事業活動を含んでおります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

セグメント間取引については含めて記載しております。

(不動産・建設事業)

不動産・建設事業は、分譲土地38件、建物20件、中古住宅4件の販売を行いました。その結果、売上高は1,110百万円(前年同期比85.3%)、セグメント利益は13百万円(前年同期はセグメント損失30百万円)となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業は、自社物件2,273戸、管理物件14,962戸を保有し、賃貸経営、賃貸管理及び賃貸仲介を行いました。その結果、売上高は1,060百万円(前年同期比100.8%)、セグメント利益は313百万円(前年同期比93.4%)となりました。

(資産活用事業)

資産活用事業は、賃貸住宅1件、賃貸中古住宅1件の販売を行いました。その結果、売上高は183百万円(前年同期比258.7%)、セグメント利益は8百万円(前年同期はセグメント利益0百万円)となりました。

(ホテル事業)

ホテル事業は、3箇所のビジネスホテル、2箇所の飲食店舗を運営しました。その結果、売上高は162百万円(前年同期比91.2%)、セグメント利益は7百万円(前年同期比84.0%)となりました。

(その他)

その他事業は、連結子会社(興國不動産株式会社)において不動産仲介及び賃貸管理を行いました。その結果、売上高は10百万円(前年同期比87.9%)、セグメント利益は0百万円(前年同期比63.5%)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ154百万円減少し、31,902百万円となりました。

流動資産については、前連結会計年度末に比べ332百万円減少し、8,448百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少578百万円を反映したものであります。

固定資産については、前連結会計年度末に比べ178百万円増加し、23,453百万円となりました。これは主として、その他の有形固定資産（純額）の増加168百万円、土地の増加100百万円及び建物及び構築物（純額）の減少64百万円を反映したものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ155百万円減少し、14,607百万円となりました。

流動負債については、前連結会計年度末に比べ147百万円減少し、3,797百万円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金の増加45百万円及び工事未払金の減少171百万円を反映したものであります。

固定負債については、前連結会計年度末に比べ7百万円減少し、10,810百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少10百万円を反映したものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1百万円増加し、17,294百万円となりました。これは主として、当第1四半期連結会計期間に支払う配当金計上による繰越利益剰余金の減少140百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益142百万円を計上したためであります。自己資本比率は54.2%（前連結会計年度末は53.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月15日付「2026年3月期 決算短信」において、公表のとおり変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,739,751	4,160,930
売掛金	41,629	34,399
販売用不動産	2,751,504	2,746,495
未成工事支出金	630,138	613,847
貯蔵品	9,820	15,064
その他	609,065	878,800
貸倒引当金	△1,120	△1,001
流動資産合計	8,780,790	8,448,536
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,546,931	7,482,929
土地	14,948,199	15,048,634
その他（純額）	268,164	436,275
有形固定資産合計	22,763,295	22,967,839
無形固定資産		
のれん	192,070	182,760
その他	42,307	41,390
無形固定資産合計	234,377	224,151
投資その他の資産	277,897	261,788
固定資産合計	23,275,570	23,453,779
資産合計	32,056,360	31,902,315

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,774	14,753
工事未払金	445,835	274,218
短期借入金	481,432	453,900
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	1,909,771	1,955,420
未払法人税等	100,001	77,619
賞与引当金	73,513	78,880
その他	878,783	902,340
流動負債合計	3,945,111	3,797,132
固定負債		
社債	270,000	270,000
長期借入金	9,897,039	9,886,833
資産除去債務	125,057	125,865
繰延税金負債	9,492	9,492
その他	516,637	518,240
固定負債合計	10,818,226	10,810,431
負債合計	14,763,338	14,607,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	596,763	596,763
資本剰余金	536,885	536,885
利益剰余金	16,168,972	16,170,701
自己株式	△9,598	△9,598
株主資本合計	17,293,022	17,294,751
純資産合計	17,293,022	17,294,751
負債純資産合計	32,056,360	31,902,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,613,059	2,526,824
売上原価	1,569,335	1,485,039
売上総利益	1,043,724	1,041,785
販売費及び一般管理費	800,909	792,791
営業利益	242,815	248,994
営業外収益		
受取利息	381	1,273
受取手数料	12,216	12,476
受取賃貸料	2,950	5,139
解約金収入	2,928	2,541
受取補助金	73	71
その他	6,000	5,453
営業外収益合計	24,550	26,956
営業外費用		
支払利息	51,856	58,206
その他	1,954	1,896
営業外費用合計	53,810	60,103
経常利益	213,555	215,847
特別損失		
固定資産除却損	0	876
特別損失合計	0	876
税金等調整前四半期純利益	213,555	214,971
法人税、住民税及び事業税	69,823	58,471
法人税等調整額	9,184	13,893
法人税等合計	79,007	72,364
四半期純利益	134,547	142,606
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,547	142,606

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	134,547	142,606
四半期包括利益	134,547	142,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,547	142,606
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	不動産・ 建設事業	不動産 賃貸事業	資産 活用事業	ホテル事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,300,730	1,051,909	71,012	177,621	2,601,273	11,786	2,613,059
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,107	375	—	—	1,482	7	1,490
計	1,301,837	1,052,284	71,012	177,621	2,602,755	11,793	2,614,549
セグメント利益 又は損失(△)	△30,986	335,412	309	9,431	314,165	1,526	315,692

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社(興國不動産株式会社)等の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	314,165
「その他」の区分の利益	1,526
全社費用(注)	△102,136
セグメント間取引	—
四半期連結財務諸表の経常利益	213,555

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	不動産・ 建設事業	不動産 賃貸事業	資産 活用事業	ホテル事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,109,867	1,060,857	183,675	162,062	2,516,463	10,361	2,526,824
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,068	—	—	—	1,068	7	1,076
計	1,110,936	1,060,857	183,675	162,062	2,517,532	10,368	2,527,901
セグメント利益	13,391	313,427	8,004	7,925	342,748	968	343,717

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社(興國不動産株式会社)等の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	342,748
「その他」の区分の利益	968
全社費用(注)	△127,869
セグメント間取引	—
四半期連結財務諸表の経常利益	215,847

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	122,435千円	127,358千円
のれん償却額	9,309 "	9,309 "